

# SR Safety System

## ドライブレコーダー

### SR-DR1001

## 取扱説明書



この度は、本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
本書(取扱説明書)をよくお読みの上、正しい接続・使用方法でお使いください。  
お読みになった後は、保証書と一緒に大切に保管し、必要な時にお読みください。

### microSDカードの取扱いについて

以下の状態でのmicroSDカードの抜き差しをしないでください。

- ・本機が起動中(通電中)の場合
- ・常時電源を使用中の場合

必ず電源が入っていない事を確認してからmicroSDカードの抜き差しを行ってください。

電源を切らずにmicroSDカードの抜き差しをすると破損、データ消失の原因となる可能性があります。  
事故発生時は事故時のデータ保存のため、電源を切ってからmicroSDカードを抜いて保管してください。  
詳細については、本書P2の「microSD カード」について(重要)を必ずお読みください。

### 保証書別添付

保証書は、「お買い上げ日」・「販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



# 目次

## はじめにお読みください

microSD カードについて (重要) .....	1	駐車監視機能について .....	22
安全上のご注意 (必ずお守りください) .....	3	静止画撮影モード .....	23
使用上のご注意 (必ずお守りください) .....	6	再生モード (記録ファイルの読み出し) .....	25
商品構成一覧表 .....	7	パソコンによる記録ファイルの読み出し .....	27
各部名称と働き .....	8	一般設定について .....	28
取り付け .....	10	録画時間について .....	30
microSD カードについて .....	13	トラブルシューティング .....	31
電源オン / オフについて .....	16	その他 .....	33
録画について .....	17	専用常時電源ケーブルについて .....	34
動画記録モード .....	19	仕様 .....	39

- 本書で使用しているイラストや画面例は、実際の製品と異なる場合があります。
- 接続、設置、配線等のイラストはイメージとなります。
- 各画面画像やビジュアルはハメコミ画面合成であり色および仕様等は実際の製品と異なる場合があります。
- 本書では、microSDHC や microSDXC カードを便宜上、「microSD」と表記しています。
- 実際の製品画面や機能は、性能や機能改善のため、予告なく変更する場合があります。

## 免責事項について

- お客様または第三者がこの製品の誤使用、使用中に生じた故障、そのほかの不具合またはこの製品の仕様によって受けられた損害については、弊社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機は、自動車などの事故における証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機は、全ての状況下で録画を保証するものではありません。
- 本機の故障や使用による損害または録画データの破損や損傷によって生じた損害は、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 常時電源ケーブルを使用した際の駐車監視機能は、車両バッテリーを使用します。そのため、車両のバッテリーに負担がかかりますので、定期的に点検をしてください。
- 車両のバッテリー上がりについて、弊社は一切の責任を負いかねます。
- LED 方式の信号機は録画データがちらつく可能性があり、色の識別ができない場合があります。それにより生じた損害について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カードの取扱には十分注意して、注意事項をよくお読みの上、使用してください。注意事項を守らずに発生したデータの損失や破損に関して、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 付属品または専用別売品以外の機器やケーブル類および市販品の microSD カードを使用した場合による、本機の動作異常について、弊社は一切の責任を負いかねます。

## microSDカードについて(重要)



本製品を使用する前は、必ず microSD カードをフォーマットしてください。

フォーマットしないとご使用できません。



安定してご使用いただくため、microSD カードを定期的にフォーマットしてください。

※推奨：2週間ごと

microSD カードのフォーマット操作方法については、P.14 を参照してください。

## microSD カードのフォーマットとは？

フォーマットとは、microSD カード内のデータを初期化することであり、長期間 microSD カードをフォーマットせずに録画データを書き込み続けると、書き込みや読み込みのエラー（ファイルの断片化）が発生しやすくなります。

フォーマットせずにお使い続けると、正常に録画ができなくなったり、microSD カードが認識できなくなる可能性があります。安定的にお使いいただくために、製品お買い上げ時および2週間ごと（推奨）に定期的なフォーマットをしてください。

※microSD カードのフォーマットは、本体設定の初期化（工場出荷設定）とは異なり、microSD カード内にある録画データのみを初期化（クリーンアップ）するものとなります

※microSD カードのフォーマットを行うと、全てのデータが消去されますので、ご注意ください

## microSDカードについて(重要)



### ご注意

microSD カードを使う前に、次の内容を確認してご使用ください。

- 付属の microSD カードを使用してください。指定以外の microSD カードを使用されると、データの破損や記録ができない恐れがあります。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換を推奨します。正常に使用していても、長期間使用すると、正常に記録できなくなる場合やカードエラーになり使用できなくなる場合があります。
- フォーマットしないままご使用されると、正しく録画ができない場合があります。
- フォーマットする際は、本機によるフォーマットをするか、パソコンでフォーマットをおこなってください。
- microSD カードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSD カード自体の寿命で使用できなくなった場合、パソコンでも読み込みができなくなり、正常にご使用できなくなります。
- microSD カード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコン等にバックアップすることをおすすめします。
- microSD カードの容量によっては、起動時間が変動する場合があります。
- microSD カードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSD カードを取り出す時には、車のエンジンを止めるか、またはシガーソケットからシガー電源アダプターを抜き、本体の電源をオフにした上、安全な場所に停車してから行ってください。
- 常時電源使用時も必ず本機の電源をオフにしたことを確認してから microSD カードの抜き差しを行って下さい。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。
- 市販の microSD カードによっては、認識しない場合や挿入、取り外しにくい場合があります。
- 市販の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- 市販の microSD カードについての仕様に関しては、microSD カードメーカーへお問い合わせください。
- 変形している microSD カードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 本体の動作温度が仕様外の場合、microSD カードが正常に動作しない場合があります。
- microSD カード自体に塗装やシール貼付されている場合は、ご使用できませんのでご注意ください。
- 本機は、8GB~64GB Class 10 の microSD カードに対応しています。ただし、全ての microSD カードの動作を保証するものではありません。市販品の microSD カードを使用した場合の動作不良に対しては保証対象外となります。
- microSD カードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等はおこなっておりません。
- フォーマット作業による microSD カードの不具合修復を弊社が保証するものではありません。
- フォーマット作業による microSD カードのデータ消失やその他の損害が発生した場合、弊社は一切その責任を負いかねます。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

安全のため、必ずお守りいただくことを説明しています。  
交通事故防止等安全確保のため、必ずお守りください。

 <b>警告</b>	人が死亡または重傷を負う危険を避けるために必ず守っていただきたい事項
 <b>注意</b>	人が軽傷を負う危険性や、物的損害を避けるために必ず守っていただきたい事項
 <b>禁止</b>	絶対にしてはいけない事項
 <b>強制</b>	必ず守るべき事項

### 警告

必ず規定容量のヒューズを使用する  
また、交換は専門技術者に依頼する

-  規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、ご購入店または弊社サービスセンターにご依頼ください。(ヒューズ: 1A)

取り付けには車両の保安部品のボルト  
やナットを絶対に使用しない

-  ステアリングやブレーキなどの保安部品のボルトやナットを使用して取り付けると、事故の原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

-  車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウinkerなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

運転や視界を妨げたり、同乗者に危険を及ぼす場所には、絶対に取り付けない

-  運転に支障をきたす場所(シフトレバー、ハンドル付近など)前方・後方の視界を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所への取り付けは、交通事故やけがの原因になります。

運転者は走行中に操作をしない、また画像・表示を注視しない

-  走行中の操作や画像・表示の注視は、前方不注意による交通事故の原因になります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す

-  ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておく等、配線処理をしてください。事故やけがの原因になります。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

車のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認して取り付ける

- ❗ 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線に干渉や接触しないようにしてください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置をしてください。火災や感電、事故の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

- ⊘ 煙が出る、変なにおいがする等の異常な状態で使用すると発火などの原因となります。
- 直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店にご相談ください。

ステーなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

- ⊘ 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

使用しないコードの先端などは、絶縁する

- ❗ 被覆がない部分が車の金属部に接触しないように、テープなどで絶縁してください。ショートにより火災や感電の原因となります。

指示に従って正しく配線・取付を行う

- ❗ 説明書に従って正しく配線・取付をしないと火災や事故の原因となります。

DC12V-24Vマイナスアース車で使用する。

- ⚠ DC12V-24Vマイナスアースの車専用です。上記以外のお車には使用できません。火災や故障の原因となります。

分解や改造はしない

- ⊘ 内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

機器内部に水や異物を入れない

- ⊘ 内部に金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良になるばかりでなく、ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙・発火、感電の原因となります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子を外しておく

- ❗ バッテリーのマイナス端子を繋いだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因となります。

配線・取り付け/取り外しは、専門技術者に依頼する

- ❗ 取り付けと配線は、専門技術と経験が必要です。

## 安全上のご注意(必ずお守りください)

### 車載用以外には使用しない

-  車載用以外(例えばレジャーボートやアウトドアなど)に使用すると、発煙・発火、感電やけが、故障の原因になる場合があります。

### コードをかみ込ませたり、引っ張ったり傷つけない

-  ショートや断線により、発火や故障の原因となることがあります。

### 高温になる場所などに取り付けない

-  直射日光やヒーターの熱風などが直接当たると内部温度が上昇し、火災や故障の原因になることがあります。

### 振動の多いところや不安定な場所に取り付けけない

-  傾いた場所、強い曲面などに取り付けると、走行中にはずれる・落下するなど、事故やけがの原因になることがあります。

### 本機の通風孔を塞がない

-  内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

### 強い衝撃を与えない

-  落下させる、たたくなどして衝撃を与えると、故障や火災の原因になることがあります。

### 必ず付属品や指定の部品を使用する

-  指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

### 水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない

-  雨や洗車などで水がかかったり、湿気・ほこり・油煙などが入ると、発煙・発火、感電、故障の原因になることがあります。

### 感電の原因になるので、接触禁止

-  雷が鳴り出したら、シガー電源アダプターには触れないでください。感電の原因となることがあります。

## 使用上のご注意(必ずお守りください)

- 本機を使用中の交通事故、交通違反に関しては、一切の責任を負いかねます。安全運転をお心がけください。
- 本機はすべての状況においての映像を記録することを保証するものではありません。
- 記録された映像やデータの損傷、破損による損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- 本機を取り付けたことにより、車両や車載品の故障、事故などの損害は、弊社は一切その責任を負いかねます。

### 注意

#### 取り付け時はエンジンを切る

-  本機の実取り付けは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。車両のキーがONの状態で行うと、感電及び故障の原因になります。

#### 磁性性があるものに近づけない

-  本機の近くに磁性性があるものを置かないでください。本機の誤作動及び故障の原因になります。

#### 画質が落ちることがあります

-  トンネル入出時のように、急に明るさや暗さに変化する場合、逆光が強い場合、夜等光源がないなどの条件では、録画品質が落ちることがあります。

#### 信号機の色を認識できないことがあります

-  LED方式の信号機では画面がちらつきことがあります。また、色の認識ができないことがあります。

#### フロントガラスと本機レンズの表面をきれいにする

-  車のフロントガラスと本機レンズの表面をきれいにしてください。ほこりや異物による反射や屈折現象で、きれいに録画できない可能性があります。

#### microSDカード容量超えを注意する

-  本機は8GBのmicroSDカードを付属しています。緊急録画で記録された動画は、設定により上書きされない場合があります。

## スーパーキャパシターについて

本機搭載のスーパーキャパシターは、急に電源が遮断されたときに現在録画している映像の破損を防ぎ安全に保護するためのバックアップ用電源です。以下の点にご注意ください。

1. 初めてご使用になるときや長時間使用されていないときは、スーパーキャパシターの特性上電気容量が少ない状態です。  
外部電源接続後必ず「5分以上」充電をしてから本機の電源をお切りください。  
3分未満の充電で電源をお切りになった場合、録画している映像が正しく保存されない場合がありますのでご注意ください。
2. 本機の電源を切ってから約7日間充電を行わない場合、スーパーキャパシターの電荷が放電され、日付の設定が工場出荷状態に戻ります。7日以内の充電をおすすめします。  
※日付/時刻設定については、P.28「一般設定について」を参照ください

# 商品構成一覧表

本機を使用する前に、必ず同梱物を確認してください。



■ドライブレコーダー本体



■シガーアダプター



■取付ステー



■microSDカード8GB  
(本体に装着)



■取扱説明書



■保証書

## ⚠ 使用上のご注意

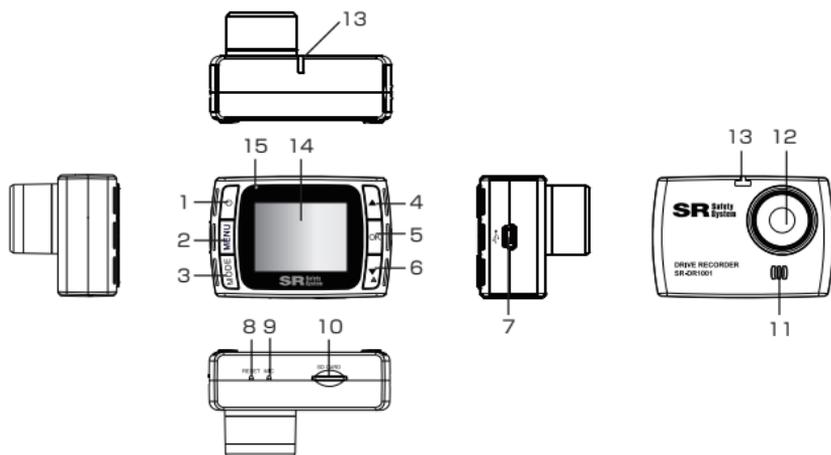
### 1. シガーアダプターについて

- 付属のシガーアダプターは車のシガーソケットに直接接続してください。シガーソケットを分岐させたアダプターには接続しないでください。火災や故障、誤作動の原因になることがあります。
- 長期間本機を使用しない場合、シガーアダプターを車のシガーソケットから抜いてください。火災やバッテリー上がりの原因となります。

### 2. 取付ステーの使用について

- 付属の取付ステーは運転に支障をきたさない位置、またエアバッグなどの安全装置の動きを妨げないようにお取り付けください。
- ステーを取り付ける前に、フロントガラスの表面をきれいにしてください。ほこり・異物は両面テープに影響があり、落下・脱落する恐れがあります。

# 各部の名称と働き



## 1. 電源ボタン

電源オンの状態で短く押すと、液晶オフになり、2秒以上長く押すと、電源オフになります。電源オフの状態を押すと、電源オンになります。

## 2.MENU ボタン（メニューボタン）

一回押すと、各モードの設定メニューを表示します。  
その状態からさらにもう一度押すと、本機の一般設定メニューを表示します。  
一般設定メニュー画面中に、再度「MENU」ボタンを押すと、もとのモードに戻ります。  
※録画停止中に有効となり、録画中は MENU ボタンが無効となります。

## 3.MODE ボタン（モードボタン）

ボタンを押すたびに各モードが切り替わります。



：動画記録モード



：静止画撮影モード



：再生モード

※録画停止中に有効となり、録画中は MODE ボタンが無効となります。

## 4. カーソル（▲） / マイクオン / オフボタン

メニューのカーソル操作を行います。

録画中の場合に押すと、録画中の音声録音のオン / オフ切替を設定します。

（マイクの工場出荷設定値：オン）

## 5.OK ボタン（確認ボタン）

設定メニュー：項目や設定値を決定します。

動画モード：録画中に押すと、録画を停止します。

録画停止中に押すと、録画を開始します。

撮影モード：静止画を撮影します。

再生モード：録画した動画の再生 / 一時停止を切り替えます。

## 各部の名称と働き(つづき)

### 6. カーソル (▼) / 緊急録画ボタン

メニューのカーソル操作を行います。  
録画中の場合に押すと、緊急録画を開始します。

### 7. miniUSB 端子

付属のシガーアダプターを接続します。

**ご注意：**

本機付属のシガーアダプター以外は絶対に接続しないでください。  
正常に動作しなくなったり、故障する可能性があります。

### 8. リセットスイッチ

本機が正しく動作しなくなった時に押してください。

**ご注意：**

リセットすると、本体は強制的に再起動されます。

### 9. マイク

周囲の音声を集音します。

### 10. microSD カード挿入口

microSD カードを入れて使用します。

### 11. スピーカー

操作音や再生時にファイルに録音された音声が出力されます。

### 12. レンズ

**ご注意：**

工場出荷時に保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に剥がしてください。

### 13. ジョイントレール

同梱品の取付ステーを取り付けます。

### 14. 液晶モニター

1.5 インチカラー液晶

### 15. スピーカー

本機動作状況を表示します。

# 取り付け

取付ステーを使って、車に本機を取り付けます。

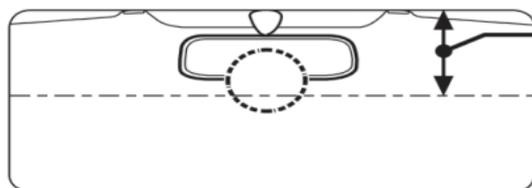
**取り付け上のご注意：本機を取り付ける前に以下の内容をご確認のうえ、取り付けてください。**

- 道路交通法及び関連する法令・規定類に抵触しないよう正しく取り付けてください。
- 車に取り付ける際には、運転の妨げとなる場所には取り付けないでください。
- 視界の妨げにならないよう取り付けてください。
- フロントガラスの上部 20%の範囲以内に取り付けてください。
- 同梱品の取付ステーは両面テープで固定されます。一度取り付けると取り外しが難しくなります。ご注意ください。
- 同梱品のシガー電源アダプター以外のものを使用しないでください。
- ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- 車検証ステッカー等に重ならないよう取り付けてください。
- 本機は防水構造ではありません。雨などで本機やシガー電源アダプターが濡れないようご注意ください。
- ワイパーの拭き取り範囲以内に取り付けてください。降雨時など鮮明に記録できます。
- シートベルトやエアバッグなどの安全装置の動きを妨げる場所には、取り付けないでください。事故の際に、安全装置が動かず、けがの原因となります。

## 推奨取り付け位置(参考)

### 取り付け位置 (正面)

(1) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置すると、最適映像を録画できます。

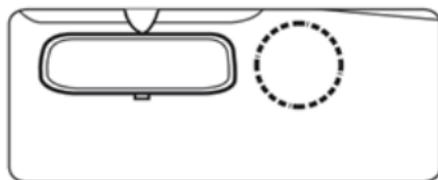
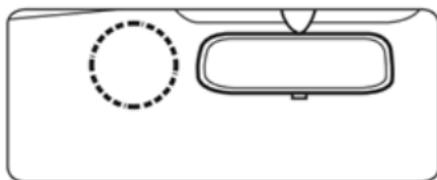


フロントガラスの上部から20%以内に取り付けてください。

※カメラレンズが、サンシェードや黒セラドットパターン、黒セララインにかからないように注意してください。

(2) ルームミラーの後部、フロントガラスの中央に設置できない場合は、ルームミラーの左、もしくは右側にも設置することができます。

※中央部に設置できない場合、録画映像が片方に寄る可能性があります。



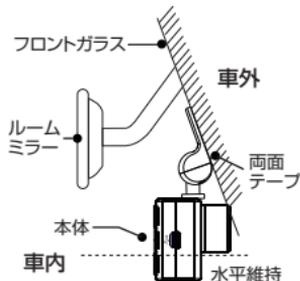
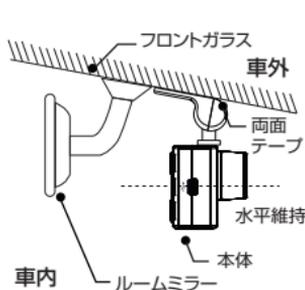
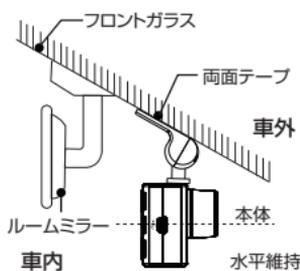
# 取り付け(つづき)

## 取り付け位置(側面図)

■ 一般的な乗用車

■ フロントガラスが寝ている車

■ ワンボックスやトラックなど

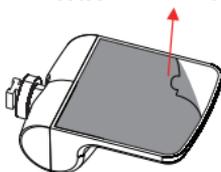


- ・ 図のように前方を遮ることがないように取り付けてください。
- ・ 本機が取り付けいた状態で、図のように本体が水平を維持するように取り付けてください。  
図のように水平が維持できていないと、正しい状態で録画できません。

## 取り付け方法

1. ステアを取り付ける場所を選び、その場所の汚れや油などをきれいに取除いてください。

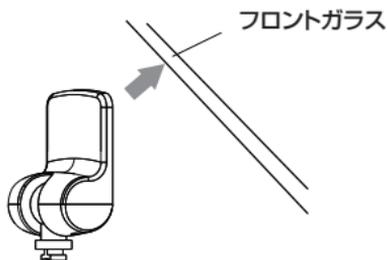
保護フィルムを剥がす



2. ステアの両面テープから保護フィルムを剥がして、フロントガラスに取り付けてください。

※ 固定力を強くするために、本体を取付後 24 時間以上放置してから使用してください。

※ 貼り直しはテープの粘着力が弱まり、脱落する恐れがあります。



## 取り付け(つづき)

3. ステーを本体のジョイントレールに合わせて  
本体を矢印の方向にスライドさせて、  
本体を装着します。  
※取り付けステーのジョイント部の向きに注意して、  
奥まで確実に装着してください。  
確実に装着していないと、走行中に落下する  
恐れがあります。
4. 車の進行方向にレンズの角度を調整して  
ください。  
※取り付けステーのジョイント部に対して、  
無理な力を入れないでください。  
破損することがあります。



## 取り外し方法

ステーから本体を取り外す時には、本機を  
矢印の方向にスライドさせてください。



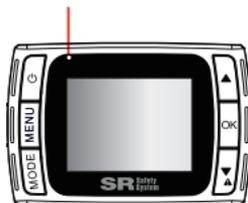
# microSDカードについて

## microSDカードの挿入と取り外し

1. microSD カードを挿入する前に、必ず本機の電源がオフになっていることを確認してから行ってください。

※本機動作中、microSD カードの挿入・取り外しをすると、データの破損、本機の故障の原因になる恐れがあります。

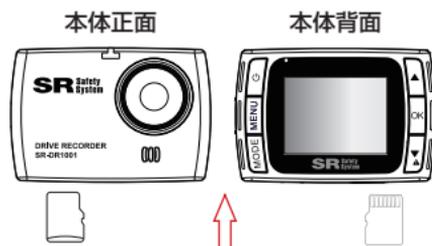
本機動作 LED ランプが点灯していないことを確認してください。



2. microSD カードの向きに注意してスロットに差し込んでください。

3. microSD カードが内部に確実に差し込まれたことを確認してください。

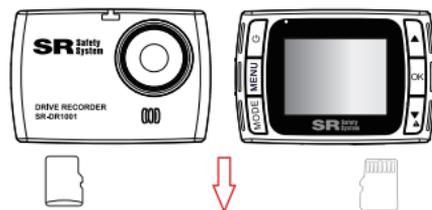
※カチッと音がするまで差し込んでください。



4. microSD カードを取り出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き抜きます。

※microSD カードを取り出す前に、必ず本体の電源をオフにしてください。

※事故発生時に記録された映像データが壊れないように必ず本体の電源をオフにしてから microSD カードを抜いて保管してください。



## microSDカードについて(つづき)

### microSDカードのフォーマット

本機に付属されている microSD カードの容量は 8GB となります。

設定メニューにある「緊急録画設定」の「上書きしない」を設定した場合、緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされないため、microSD カードの容量上限に達した際、画面上に「緊急ファイルがいっぱいです 保護されたファイルを削除してください。」というメッセージが表示され、動画記録が停止されます。

その場合、microSD カード内の空き容量を確保するか、microSD カードをフォーマットする必要があります。(フォーマットの場合、すべてのファイルが削除されます)

microSD カードをフォーマットするには、下記の手順が必要となります。

※microSD カードをフォーマットする前に、重要なデータは必ずバックアップしてください。

1. 同梱されている microSD カードが挿入されていることを確認してください。

※microSD カードが挿入されていない場合は、「カードを挿入してください。」と表示され、録画や静止画撮影ができません

2. 車のエンジンをオン (ACC ON) にして、本体を起動します。

※本機に電源が入ると、オープニング画面が表示されてから録画を開始します

※録画中青い電源ランプは点滅しています



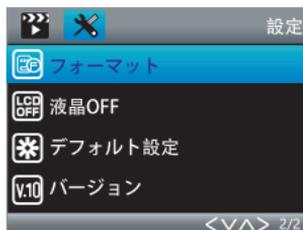
オープニング画面

## microSDカードについて(つづき)

### 3. 一般設定メニュー

録画中の場合は、「OK」ボタンを押して録画を停止してから、「MENU」ボタンを押してください。録画中は設定メニューに入ることができません。

※「録画設定」画面に入ってから、再度、「MENU」ボタンを押すと一般設定メニューに入ることができます



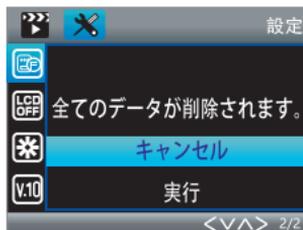
### 4. フォーマットを実行します。

一般設定メニュー画面から「フォーマット」項目の「実行」を選択した後、「OK」ボタンを押すとフォーマットが開始されます。

※フォーマットが完了すると、一般設定メニューに戻ります

※この時に「MENU」ボタンを押すと、録画モードに戻ります

※録画モードで「OK」ボタンを押すと録画を開始します



### ご注意

本機を使用する前に、microSD カードを本機でフォーマットする必要があります。

- microSD カードをフォーマットすると、記録された内容等がすべて削除されます。予めパソコンにバックアップすることをおすすめします。
- フォーマットの操作は、必ず本機が車両に固定された状態かつ車両が停止している状態で行ってください。
- フォーマット中は電源を切らないよう、ご注意ください。

# 電源オン/オフについて

## 電源オン

- ①同梱品の本体、シガー電源アダプターを接続し、車両のシガーソケットに奥まで差し込んだ状態で、エンジンをかけると自動的に本体の電源がオンになり、オープニング画面が表示されます。

※同梱しているシガーアダプターをご使用ください



## 電源オフ

- ①車のエンジンをオフにすると、本機は自動的に電源がオフになります。
- ②本体の電源ボタンを約 2 秒以上長く押し続けると、電源がオフになります。



## ⚠️ ご注意

- 本機を初めて使用する前は、必ず日時設定を行ってください。
- 日時設定されていないと、録画ファイルが正しく保存されません。
- お買い上げ時または長期間ご使用になられなかった場合に日付 / 時刻設定をする際は、本体を約 1 分間充電してから、日付 / 時刻の設定をしてください。
- 充電が不十分ですと、日付 / 時刻の保持期間が短く、日時が初期化される可能性があります。

# 録画について

## 録画の種類

### ●ループ録画（常時録画）

本機の設定により、常時録画時は 1 分間 / 2 分間 / 3 分間単位で連続して録画します。録画領域が上限に達すると、古いファイルから自動的に上書きをして録画を続けます。

1 ファイル	録画継続・・・				
--------	--------	--------	--------	--------	---------

### ●緊急録画

#### 1. 緊急録画とは

録画中緊急録画ボタン [  ] を押す、あるいは本機に搭載されている G センサーが衝撃を感知すると、緊急モードで録画開始します。緊急録画を開始すると、本機液晶右上に「」マークが表示されます。



#### 2. 緊急録画のファイル保存について

緊急録画開始の時点により、ロックされる動画が異なります。

(例)

※ループ録画設定を「1 分間」に設定時、動画①→②→③・・・と録画し続けます

※動画②の時に事故が発生して、G センサーが衝撃を感知した場合、緊急録画が開始します

※★は緊急録画の開始時点

動画①	動画②			動画③	
1 分	10s ★1	40s ★2	10s ★3	1 分	録画継続・・・

事故発生

## 録画について(つづき)

- ★1：動画②の最初から 10 秒以内に緊急録画が開始されると、動画①と動画②がロックされます。
- ★2：動画②の最初・最後 10 秒以外に緊急録画が開始されると、動画②がロックされます。
- ★3：動画②の最終 10 秒以内に緊急録画が開始されると、動画②と動画③がロックされます。

### 3. 緊急録画ファイル

※緊急録画ファイルは設定によって、上書きするかしないかを設定できます。

#### 記録されたデータ例

名前	更新日時	サイズ	属性
 VID_023	2021/03/17 8:48	84,601 KB	A
 VID_025	2021/03/17 10:21	31,260 KB	A
 VID_026	2021/03/17 10:23	31,260 KB	A
 VID_027	2021/03/17 10:31	31,260 KB	A
 VID_030	2021/03/17 10:33	89,446 KB	A
 VID_031	2021/03/17 10:34	88,848 KB	A
 VID_024	2021/03/17 10:20	84,944 KB	RA
 VID_028	2021/03/17 10:31	31,260 KB	RA
 VID_029	2021/03/17 10:32	88,460 KB	RA
 VID_032	2021/03/17 10:35	84,578 KB	RA

常時録画ファイル  
※属性が「A」となっているもの

緊急録画ファイル  
※属性が「RA」となっているもの

※Windows パソコンの「詳細表示の設定」で属性を表示させることができます

### 4. 緊急録画終了時

緊急録画完了後、本機液晶右上の「」マークが消えて、常時録画に戻ります。

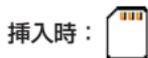
## ご注意

- 「緊急」とは、衝撃を感知した場合という意味です。
- G センサーがスーパーソフト（超高感度）に設定されている場合、衝撃が感知しやすくなり、ハード（低感度）に設定されている場合、強い衝撃のみ感知します。  
お好みに感度に設定してご使用ください。
- 感度設定を衝撃に対して弱い感度に設定している場合、事故時など緊急録画ファイルとして扱われなくなり、ループ（常時）録画ファイルとして保存される場合があります。
- ループ（常時）録画ファイルは、microSD カードの容量を超えた場合、古い映像データから順番に上書きされます。
- 緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされますが、設定により変更できません。
- 緊急録画ファイルが多く存在し、microSD カードの容量を超えた場合は緊急録画ができません。
- 大切なデータの定期的なバックアップをすることをおすすめします。

# 動画記録モード

## 動画記録画面

1. 液晶モニター  
映像画面を表示します。
2. 駐車監視アイコン  
駐車監視をオンに設定した場合に表示します。
3. 露出補正アイコン
4. ループ録画モードアイコン  
設定されているループ時間をアイコン表示します。
5. モードアイコン  
動画記録モードの時に、このアイコンを表示します。
6. 録画中アイコン  
録画中に点滅表示します。  
録画中に「OK」ボタンを押して、録画停止状態にした場合、点滅表示が消えます。  
録画停止中に「OK」ボタンを押すと、録画が開始され、点滅表示になります。
7. G-Sensitivity アイコン  
G センサーの感度を表示します。設定 4 段階をアイコン表示します。
8. 動画記録時間  
録画中の場合：現在録画されている経過時間を表示します。  
録画停止中の場合：録画可能時間（残時間）を表示します。
9. 解像度アイコン  
録画ファイルの解像度を表示します。
10. 緊急録画中アイコン  
緊急録画中に表示されます。
11. microSD カードアイコン  
microSD カードの状態を表示します。



## 動画記録モード(つづき)

### 12. 電源アイコン

本体通電中に点滅します。

### 13. 日付・時刻

設定された日付と時刻を表示します。

### 14. 音声録音アイコン

Voice Record の状態を表示します。

オン:  オフ: 

## 動画記録モードの設定

録画停止中、「MENU」ボタンを押すと、動画記録モードの設定メニューが表示されます。



## 動画記録モード(つづき)

項目	設定内容	説明
解像度	720P (▲)	録画ファイルの解像度を 1280×720 に選択します。
	WVGA	録画ファイルの解像度を 800×480 に選択します。
ループ録画	1分 (▲)	常時録画で記録される 1 ファイルごとの録画時間を設定します。
	2分	
	3分	
露出補正	-3	記録される画質の露出(明るさ)のレベルを設定します。
	-2	
	-1	
	0 (▲)	
	1	
	2	
	3	
※1 駐車監視	オフ (▲)	駐車監視機能オフを設定します。
	スーパーソフト	スーパーソフト：超高感度 液晶画面表示は P <sub>4</sub>
	ソフト	ソフト：高感度 液晶画面表示は P <sub>3</sub>
	ノーマル	ノーマル：標準感度 液晶画面表示は P <sub>2</sub>
	ハード	ハード：低感度 液晶画面表示は P <sub>1</sub>
Voice Record	オフ	映像のみで音声は記録しません。
	オン (▲)	映像と音声を記録します。
日付プリント	オフ	動画ファイルに日付や時刻を記録することができます。
	オン (▲)	
G-Sensitivity	オフ	G センサー(衝撃感度)感度を設定します。
	スーパーソフト	スーパーソフト(超高感度)：[ソフト]より検出しやすくなります
	ソフト	ソフト(高感度)：検出しやすくなります
	ノーマル (▲)	ノーマル(標準感度)：標準の感度となります
	ハード	ハード(低感度)：検出にくくなります
緊急録画設定	上書きする (▲)	microSD カードの容量がいっぱいになった場合、保護(ロック)されたファイルを古いファイルから自動的に上書きするかの設定をします。 上書きする：自動で上書きします 上書きしない：上書きしません
	上書きしない	※「上書きしない」に設定した場合、microSD カード容量がいっぱいになると録画ができなくなります

▲は工場出荷設定値

※1 エンジンオフ中に本機能を動作させる場合は、長時間録画用のバッテリー接続ケーブル「SR-DROP01」(別売)をお求めください

## 駐車監視機能について

駐車監視機能を利用する場合は、長時間録画用のバッテリー接続ケーブル「SR-DROP01」（別売）をお求めください

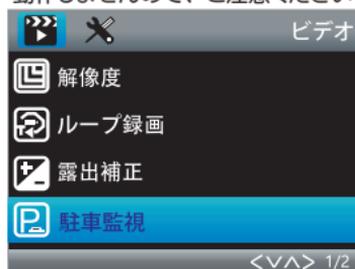
### 【駐車監視設定方法】

1. 録画停止中、「MENU」ボタンを押すと、駐車監視モードの設定メニューが表示されます。

2. 「駐車監視」を選択した後、感度を設定してください。

※[オフ]を選択すると、駐車監視機能は動きませんので、ご注意ください

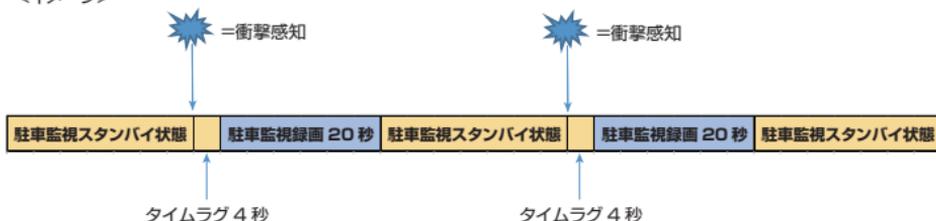
※別売の専用常時電源ケーブルのディップスイッチの設定が[OFF]の場合、駐車監視機能は動作しませんので、ご注意ください



### 【駐車監視機能について】

- 駐車監視モードでは、衝撃感知での録画が可能です。
- 衝撃を受けてから、20秒間の録画を記録し、20秒後に録画終了と共に駐車監視スタンバイ状態に戻ります。
- 衝撃を感知してから録画開始までタイムラグがあるため、衝撃感知後約4秒後に録画を開始します。
- 駐車監視録画中に再度衝撃を感知した場合、録画の延長は行われません。

<イメージ>



### ご注意

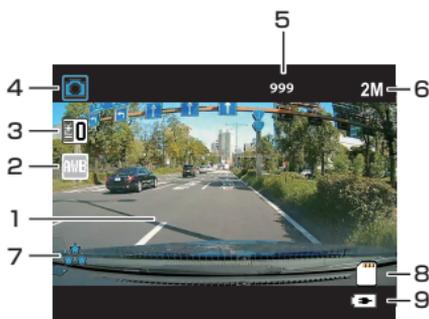
- 専用常時電源ケーブルについては、P.34 を参照してください。
- 駐車監視中は本体キーが無効となります。

# 静止画撮影モード

## 静止画撮影画面

動画記録モードがスタンバイ状態で「MODE」ボタンを押すと、静止画撮影モードに入ります。液晶モニターで被写体を確認してから、「OK」ボタンを押すと、静止画を撮影します。

1. 液晶モニター  
被写体を表示します。
2. ホワイトバランスアイコン
3. 露出補正アイコン
4. モードアイコン  
静止画撮影モードの時に、このアイコンを表示します。
5. 撮影枚数アイコン  
撮影可能枚数を表示します。
6. 解像度アイコン  
静止画ファイルの解像度を表示します。
7. 画質表示アイコン  
画質の状態を表示します。星が3つの場合、最高画質となります。
8. microSD カードアイコン  
microSD カードの状態を表示します。  
挿入時： 未挿入時：
9. 電源アイコン  
本体通電中に点滅します。



# 静止画撮影モード(つづき)

## 静止画撮影モードの設定

静止画撮影モードで、「MENU」ボタンを押すと、静止画撮影モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
解像度	2MHD (▲)	静止画ファイルの解像度を 1920×1080 に選択します。
	1.5M	静止画ファイルの解像度を 1600×912 に選択します。
	1M	静止画ファイルの解像度を 1280×720 に選択します。
画質	Fine (▲)	静止画ファイルの画質を設定します。
	Normal	
	Economy	
シャープネス	Strong	被写体の鮮鋭さ (シャープネス) のレベルを設定します。
	Normal (▲)	
	Soft	
ホワイトバランス	Auto (▲)	ホワイトバランスの種類を選択します。
	晴天	
	曇天	
	タングステン	
露出補正	蛍光灯	記録される画質の露出 (明るさ) のレベルを設定します。
	-3	
	-2	
	-1	
	0 (▲)	
	1	
日付プリント	2	静止画ファイルに日付や時刻を記録することができます。
	3	
	オフ	
	オン (▲)	

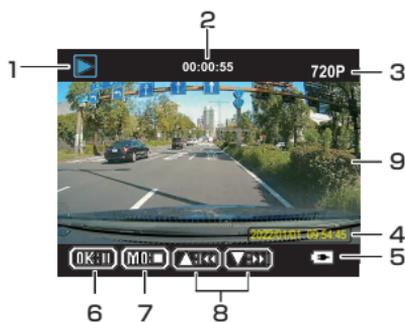
▲は工場出荷設定値

# 再生モード(記録ファイルの読み出し)

## 本機の再生モード画面

撮影モードで、「MODE」ボタンを押すと、再生モードに入ります。再生モードに入ると、本体に記録された動画や静止画を本機で再生することができます。

再生モード画面



記録ファイル再生 / 表示中の画面



1. モードアイコン  
再生モードの時に、このアイコンを表示します。
2. 動画ファイルの記録時間  
記録された時間や静止画の解像度を表示します。
3. 解像度アイコン  
記録された時間や静止画の解像度を表示します。
4. 日付・時刻  
記録された動画や静止画を撮影した日付と時刻を表示します。  
※日付プリント設定がオンになっているファイルが対象となります
5. 電源アイコン  
本体通電中に点滅します。
6. 再生 / 一時停止状態表示アイコン  
現在の再生ファイルが再生中もしくは一時停止中であるかの状態を表示します。
7. 停止アイコン  
動画再生中に「MODE」ボタンを押すと、再生を停止して、次のファイルに切り替わります。
8. ファイル切り替えアイコン  
カーソルボタンで前 / 次のファイルに切り替えます。  
記録ファイル再生している時、巻戻し / 早送りになります。
9. 液晶モニター  
記録された動画や静止画の画面を表示します。
10. 再生時間  
再生している動画の進行時間を表示します。

# 再生モード(記録ファイルの読み出し)つづき

## 再生モードの設定

再生モードで、「MENU」ボタンを押すと、再生モードの設定メニュー画面が表示されます。



項目	設定内容	説明
削除	1 ファイル削除 (▲)	選択された個別ファイルの削除もしくは、全ファイル削除を選択します。
	全ファイル削除	
保護	1 ファイルロック (▲)	記録されたファイルを保護するかどうかを設定します。 ※保護できるファイルは動画ファイルのみです。
	1 ファイルロック解除	
	全ファイルロック解除	

▲は工場出荷設定値

# パソコンによる記録ファイルの読み出し

本機に記録されたファイルをパソコンで読み出すことができます。

※対応 OS : Windows 10

※すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません

※パソコンの処理能力により、お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります

## microSDカードをパソコンと接続する

### 1. 本体の電源をオフにしてください

※電源オンの状態で microSD カードを取り出すと、本体とファイルが破損する恐れがあります。

### 2. microSD カードを取り出し、カードリーダー等を使用してパソコンと接続してください。

※microSD カードのカードリーダーは付属しておりません

※microSD カードは大切に保管してください。再度本機を使う前に、microSD カードを本機に挿入してください

### 3. パソコン上で microSD カードを開き、「DCIM」フォルダを開きます。

### 4. 再生したいファイルをダブルクリックして Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

※本製品で記録された動画を再生する際、PC/OS の性能により再生できない場合があります  
その際は「VLC media player」での動画再生を推奨いたします

※「VLC media player」というキーワードで検索し、ダウンロードが可能です

## 本体を直接パソコンと接続する

本機を直接パソコンに接続することができます。

### 1. USB ケーブルで本機とパソコンを接続すると、自動的に録画モードに入ります。

そのあと、約 1 秒後に下記の画面に切り替わります。

※USB ケーブル（データ転送用）は付属しておりません

※データ通信に対応している USB ケーブルではない場合、この画面は表示されず、自動的に録画モードに入ります



### 2. 「Storage」が選択されている状態で、「OK ボタンを押すと、自動的に外部ストレージが開きますので、「DCIM」フォルダを開いてください。

※パソコンの設定によって、自動的に外部ストレージが開かない場合があります。その場合は、エクスプローラーなどから開いてください

### 3. 再生したいファイルをダブルクリックして、Windows 標準の Windows Media Player で再生してください。

※本製品で記録された動画を再生する際、PC/OS の性能により再生できない場合があります  
その際は「VLC media player」での動画再生を推奨いたします

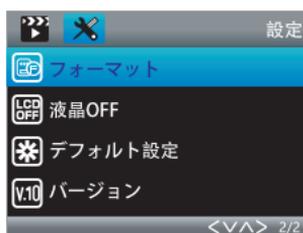
※「VLC media player」というキーワードで検索し、ダウンロードが可能です

# 一般設定について

## 一般設定メニュー画面

全モードで「MENU」ボタンを2回押すと、一般設定メニュー画面が表示されます。

※動画記録モードの場合、スタンバイ状態(録画停止中)のみ操作可能です



項目	設定内容	説明
日付 / 時刻	----	初期値=2022/01/01 「▲」ボタンで、日時の数字をアップします。 「▼」ボタンで、日時の数字をダウンします。 「OK」ボタンを押すと設定項目が保存され、カーソルが次の項目に移動します。
ボタン音	オフ	ボタンの操作音を設定します。
	オン (▲)	
表示言語	簡体中文	本機メニュー表示言語を選択します。
	繁体中文	
	English	
	日本語 (▲)	
フリッカレス	50Hz (▲)	東日本地域は 50Hz に設定してください。 西日本地域は 60Hz に設定してください。 ※記録撮影時に LED 信号灯等のちらつきを防止します。
	60Hz	
フォーマット	キャンセル (▲)	microSD カードのフォーマットを行います。 ※microSD カードをフォーマットする前に、重要なデータを PC でバックアップしてください。
	実行	
液晶 OFF	オフ (▲)	設定された時間が経過すると、自動的に液晶をオフにします。
	30 秒	
	1 分	
	2 分	

▲は工場出荷設定値

## 一般設定について(つづき)

### ご注意

項目	設定内容	説明
デフォルト設定	キャンセル (▲)	全ての設定項目を工場出荷状態に戻します。
	実行	※記録された動画ファイルや静止画ファイルは削除しません。
バージョン	---	本機のバージョンを表示します。

▲は工場出荷設定値

### ご注意

- 本機を初めて使用する前は、必ず日時設定を行ってください。
- 日時設定されていないと、録画ファイルが正しく保存されません。
- お買い上げ時または長期間ご使用になられなかった場合に日付 / 時刻設定をする際は、本体を約 1 分間充電してから、日付 / 時刻の設定をしてください。
- 充電が不十分ですと、日付 / 時刻の保持期間が短く、日時が初期化される可能性があります。

## 録画時間について

本機に使用するmicroSDカードにより、記録時間が異なります。

microSD カード容量	記録時間	
	WVGA (800×480)	720P (1280×720)
8GB	約 100 分	約 60 分
16GB	約 230 分	約 130 分
32GB	約 480 分	約 280 分

- 上記記録時間は目安であり、絶対保証値ではありません。
- 記録時間は、常時録画と緊急録画を含めた録画時間の合計です。
- 被写体や周囲環境により、記録可能な時間が変化することがあります。

## トラブルシューティング

本機を使用時に、もし不具合が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目を確認してください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。

こんなとき	原因	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機の電源はオンになっていますか？</li> <li>・シガーアダプターは外れていませんか？</li> <li>・ヒューズが切れていませんか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本機の電源はオンにしてください</li> <li>・シガーアダプターを差し込んでください</li> <li>・ヒューズを交換してください</li> </ul>
誤作動する	—	<p>本機のリセットボタンを押してください。本機を再起動してください。再起動とリセットをしても改善しない場合は、電源をオフにして、挿入している microSD カードに保存されているデータをバックアップしてから、フォーマットしてください。</p>
液晶画面に輝点がある	液晶パネルの特性です。不良ではありません。(有効画素数 99.99%)	—
録画ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ microSD カードが本体に挿入されていますか？</li> <li>・ microSD カードの容量を超えていますか？</li> <li>・ microSD カードエラーが発生していませんか？</li> <li>・ 動画記録モードに切り替わっていますか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ microSD カードが本体に挿入されていることを確認してください。</li> <li>・ 「SD カードがいっぱい!」と表示された場合は、電源をオフにして、microSD カード内のデータをバックアップした後、フォーマットしてください。</li> <li>・ 対応している microSD カードに交換してください。</li> <li>・ 動画記録モードに切り替えてください。</li> </ul>
他の車載器に影響が出る(テレビが映らない等)	<p>高性能なハイビジョン画質チューナーを搭載している場合などは、テレビ受信やラジオ受信に干渉し、受信感度が低下する場合があります。</p> <p>また、ETC アンテナ付近に設置すると誤作動する場合があります。</p>	<p>テレビ、ラジオ、ETC アンテナ等から 50cm 以上離して取り付けをするか、アンテナ位置を離してください。</p> <p>また、車両の各種センサー装置(安全運転支援装置、各種レーダー等)や防眩ミラーセンサー等がある場合は、それらの妨げにならない位置に設置してください。</p>
日付時刻が初期化される	—	<p>お買い上げ時または長期間ご使用になられなかった場合に日付 / 時刻設定をする際は、本体を約 1 分間充電してから、日付 / 時刻の設定をしてください。</p>

## トラブルシューティング

こんなとき	原因	対処方法
駐車監視録画ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>・常時電源ケーブルのスイッチ状態は正しい位置になっていますか？</li><li>・駐車監視用の G センサー感度の設定がハードになっていませんか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・「別売品について」を参照してスイッチの状態を確認してください。</li><li>・駐車監視用の G センサー感度をソフトまたはスーパーソフトに変更してください。</li></ul>
緊急録画ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>・通常録画用の G センサー感度設定がハードになっていませんか？</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・通常録画用の G センサー感度設定をソフトまたはスーパーソフトに変更してください。</li></ul>

## その他

### SDカードフォーマットについて

長期間、SDカードをフォーマットせず、録画データを書き込み続けると、ファイルの断片化が発生しやすくなります。定期的なフォーマットをおすすめします。

#### <ファイルの断片化について>

SDカードはNANDフラッシュ及びコントローラで構成されており、不良セクタを含む場合があります。不良セクタにはデータの書き込みは行われず、繰り返しデータ記録が続けられると、不良セクタの位置の判断ができなくなり、記録できる領域が減少します。また、不良セクタにより、カードエラーや書き込みエラーの原因となる場合があります。そのため、安定してご使用いただくため、定期的なフォーマットをおすすめしています。

→microSDカードについて「P.1~2 microSDカードについて(重要)」

→フォーマットについて「P.13 microSDカード」

### もしも事故が起きたら

事故発生時は、記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り外して、安全な場所へ保管するようにしてください。

※事故発生時の参考資料として使用することができますが、事故の証拠として効力を保証するものではありません

#### <保管場所について>

microSDカードは精密電子部品となります。下記のような場所で取り扱い、保管をするとmicroSDカード内に保存されているファイルが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

- ・静電気が発生する場所
- ・水に濡れたり、湿気が発生する場所
- ・衝撃を受ける場所(曲げ・折り込む)
- ・腐食性ガスが発生する場所

## 専用常時電源ケーブルについて

### ●専用常時電源ケーブル(製品型番:SR-DROP01)

- ・ 駐車監視をご使用する場合、本機の専用常時電源ケーブルをお買い求めください。
- ・ 電源電圧監視ユニットをドライブレコーダー本体へ接続することで、車両キースイッチ(ACC)OFF後も電源供給を行い、駐車監視録画を行うことができます。
- ・ バッテリー上がり防止のため車両バッテリー電圧またはタイマー(時間)によって電源供給を停止させる方法があります。
- ・ 専用常時電源ケーブルは、常時電源(バッテリー)、アクセサリ、アースの接続が必要となります。取り付けには、専門の知識と技術が必要となりますので、販売店や専門技術者へ依頼してください。
- ・ 専用品となりますので、SR-DROP01以外は使用できません。
- ・ 正しく接続しないと、車両バッテリー上がりや駐車監視機能が働かなくなる場合や期待した動作にならない場合がありますので、必ず接続を確認してください。

#### 取り付け上のご注意

- 必ず、付属されている電源電圧監視ユニットおよび付属品をお使いください。付属品以外を使用した場合、電圧差等により本製品もしくは車両が損傷する場合があります。
- 安全に運転するため、運転手の視界を妨げたり運転を妨害することがないようにケーブルを配線してください。
- 端子の向きにご注意ください。また、無理に接続したり外そうとすると、本体端子およびケーブル端子が破損する場合があります。
- 駐車監視モード中は車両の常時電源(車両バッテリー)を使用するため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的な車両バッテリーの点検を行ってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますので、駐車監視モードのご使用を控えてください。
  - ・ 毎日走行しない方
  - ・ 1日の走行が1時間以下の方
  - ・ 車両バッテリーを1年以上使用している方
- ※上記はあくまでも目安ですので、バッテリーのコンディションを確認するようにしてください。
- 本機を使用したことによる車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取り付けおよび配線の取り回しは運転の妨げにならないように行ってください。
- 車両自体の安全装置(エアバッグや安全運転支援システム等)に影響がない場所へ取り付けてください。
- 車両システム(ハイブリッドシステムや電気自動車等)によっては、期待した動作にならない場合があります。
- 長時間録画を行う場合、録画データが上書きされる場合がありますので、ご注意ください。
- 電源が供給されている間は、microSDカードへ録画記録を続けるため、microSDカードの寿命が短くなる可能性があります。
- 取り付けには専門の知識と技術が必要となりますので、販売店または専門技術者へ依頼してください。

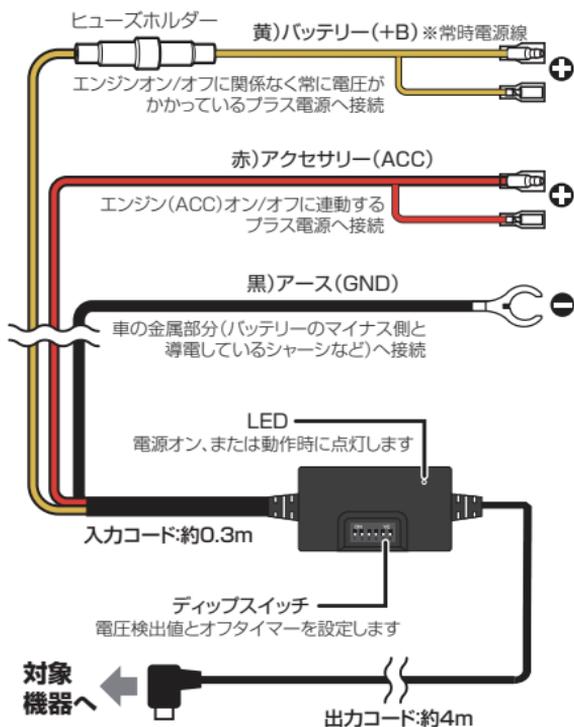
# 専用常時電源ケーブルについて(つづき)

## 接続配線図

### ⚠️ 取り付け上のご注意

- 常時電源線(黄)は、必ず車両ヒューズ(10A以下)を通った後の配線へ接続してください。
- 車両ヒューズの無い配線へ接続を行うと火災や故障の原因となります。
- 電源コードを加工したり、ヒューズを外して接続を行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 車両のヒューズボックスから電源を取る場合は(ギボシ部分をヒューズ型に変換するケーブルを使用する)市販品のヒューズ変換品をご使用ください。
- ヒューズ形状には種類がありますので、取り付ける車両のヒューズを必ず確認してください。
- 市販品のパーツを接続した場合の車両および本機の故障については、弊社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 市販品パーツについてのお問い合わせは、電装品販売店へお問い合わせください。

### 付属品ケーブルのみを使用した場合



## 専用常時電源ケーブルについて(つづき)

### 電圧監視およびタイマー監視設定(ディップスイッチ設定)

駐車監視モード時の電源供給停止方法は、ディップスイッチの設定により、電圧もしくはタイマーによる監視方法を選択することができます。

#### 【電圧監視】

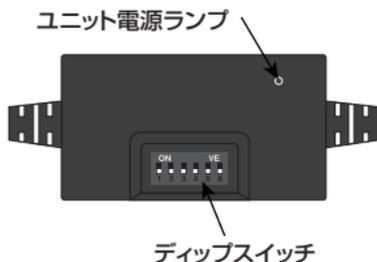
車両のバッテリー電圧を監視して、電圧が設定された電圧値に下がった場合、自動的に本機への電源供給を停止させ、電源を OFF にします。

#### 【タイマー(時間)監視】

タイマーにより、設定された時間を経過した場合、自動的に本機へ電源供給を停止させ、電源を OFF にします。

[タイマー設定値]=0 時間 / 10 秒間 / 1 時間 / 2 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 8 時間 / 12 時間

### 電源電圧監視ユニット各部名称



#### <電源電圧監視ユニットインジケータ表>

LED ランプ (赤)表示	本体動作	内容
消灯	動作停止中	エンジン停止 (ACC オフ) 及びディップスイッチ 1 番オフ
点灯	動作中	エンジン始動 (ACC オン)
点滅 ※ 1 秒間隔	駐車監視動作中	エンジン停止 (ACC オフ) 及びディップスイッチ 1 番オン

※タイマー監視設定をしている場合かつタイマー設定時間に到達し、電源供給を停止した場合に点滅します

# 専用常時電源ケーブルについて(つづき)

## 監視設定早見表

電圧とタイマーの組み合わせによって、以下の表に当てはまるアルファベットとディップスイッチ設定表を確認して、設定を行ってください。

※タイマーで設定されている時間に到達する前に車両のバッテリーの電圧値が設定されている電圧値に下がった場合は、電圧低下を優先して電源供給を停止します

電圧監視 タイマー(時間)監視	・11.3V(12V車) ・23.3V(24V車) になると停止	・11.6V(12V車) ・23.6V(24V車) になると停止	・12.0V(12V車) ・24.0V(24V車) になると停止	・12.6V(12V車) ・24.6V(24V車) になると停止
0時間 ※電圧のみで監視する場合	A	B	C	D
10秒間 ※10秒後に電源電圧を停止	E	F	G	H
1時間 ※1時間後に電源電圧を停止	I	J	K	L
2時間 ※2時間後に電源電圧を停止	M	N	O	P
4時間 ※4時間後に電源電圧を停止	Q	R	S	T
6時間 ※6時間後に電源電圧を停止	U	V	W	X
8時間 ※8時間後に電源電圧を停止	Y	Z	AA	AB
12時間 ※12時間後に電源電圧を停止	AC	AD	AE	AF

### 使用上のご注意

本体に電源が入っている状態または駐車監視中にディップスイッチの設定を切り替えないでください。故障の原因となります。設定を変更したい場合は、本体の電源をOFFにしてから行ってください。

# 専用常時電源ケーブルについて(つづき)

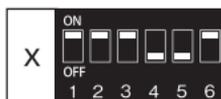
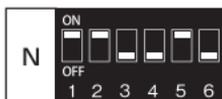
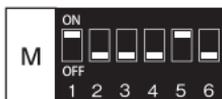
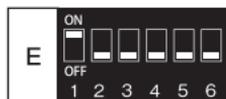
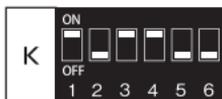
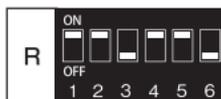
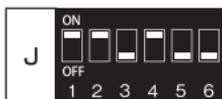
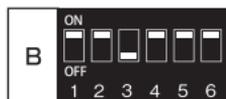
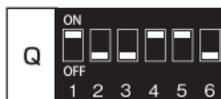
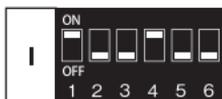
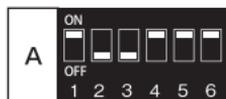
## 電圧監視およびタイマー監視設定(ディップスイッチ設定)

### ▼ディップスイッチ早見表



**ご注意**

●ディップスイッチの「1」が [OFF] の場合、設定メニューの駐車監視設定を ON にしていても、駐車監視機能は動作しませんので、ご注意ください。



# 仕様

型番	SR-DR1001
商品名	ドライブレコーダー
ディスプレイ	1.5 インチカラー液晶
カメラ	100 万画素カラー CMOS
カメラ画角	水平：約 97° 垂直：約 56° 対角：約 118°
フレームレート	27fps
録画ファイル単位	1 分 / 2 分 / 3 分
動画解像度	720P (1280×720)
	WVGA (800×480)
静止画解像度	2MHD (1920×1080)
	1.5M (1600×912)
	1M (1280×720)
駐車監視	オン / オフ設定可能
音声録音	オン / オフ設定可能
G センサー (衝撃感知)	内蔵
映像フォーマット	AVI
画像フォーマット	JPG
電源	DC12V-24V
消費電力	1.5W
本体寸法 (mm)	約 60(W)×41(H)×33.5(D) (突起物除く)
本体重量	約 46.5g (microSD カード含む)
保存温度	-10°C~60°C
動作温度	0°C~50°C
付属品	シガーアダプター (約 4m) ×1
	取り付けステー ×1
	microSD カード (8GB) ×1
	取扱説明書 ×1・保証書 ×1

※紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。





販売元：**辰巳屋興業株式会社 用品部**

〒124-8538 東京都葛飾区新小岩3-8-4

### お問い合わせはサービスセンターへ

#### ▼電話でのお問い合わせ

**03-3696-0620**(通話料がかかります)

電話受付時間 平日 9:00～12:00、13:00～17:00  
(土日祝祭日、弊社休業日は除く)

#### ▼メールでのお問い合わせ

**rg@tmy-net.co.jp**